

切花出荷容器の標準化について

切花出荷容器の標準化について、農林水産省の平成 28 年度国産花きイノベーション事業を活用し、物流の効率化の検討・検証を行いました。

◇初めに

生産地から出荷される切花は、多くの場合、様々な大きさの段ボール出荷容器で流通します。

トラック流通が中心的な物流で、積載は手積みによるため大変時間のかかる作業となっています。同様に、花き市場での荷卸しは手作業による荷下しのため、時間のかかるものとなります。

一台あたりの作業時間が長いため、荷下しまでの待ち時間が長い場合もあり、トラックドライバーには負担の多い商品ではないでしょうか。

また、生産地毎の独自の商品規格であるため流通容器が統一されておらず、流通の川下では規格の異なる商品をパズルのように組み合わせて積む作業を行い、購入者サイドも商品の積載に労力と時間がかかっている状況です。

日本中のドライバーの高齢化が進み、また、これからはドライバーが減少してゆきます。

花き卸売市場においても、物流コストの低減は喫緊の課題です。

これらの課題解決のため、適切で標準となる切花出荷容器サイズを定め、産地及び流通業者の皆様にご利用いただくことで、花きサプライチェーンの効率化に寄与していきたいと考えています。

切花標準容器サイズ（外寸表示です）

JIS 規格である 11 型パレットに積みやすいように設計、4 サイズ。

分類	長さ(mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	備考
A	1,100	360	260	標準サイズ T11 型パレット 3 列積み
B	1,100	360	173	標準サイズの高さ 3 分の 2 サイズ
C	1,100	360	130	標準サイズの高さ 2 分の 1 サイズ
D	1,100	275	130	T11 型パレット 4 列積み

*分類 C は、3 辺合計が 1,590mm、宅急便の最大サイズである 1,600mm 以下となります。

上記のサイズであれば、以下のように複数のサイズの箱が積みあわせされても

積み合わせは容易です。

Dサイズ	Dサイズ	Dサイズ	Dサイズ
A型	Bサイズ	Cサイズ	
	Bサイズ	Cサイズ	
A型	Bサイズ	Cサイズ	
	Bサイズ	Cサイズ	

実物はこのようになります。



実証試験の様子です。

2016年9月 全農長野様、JA 佐久浅間様、市場協会会員市場様にご協力いただきました。



標準容器をパレットに積んだ様子

トラックにフォークリフトで積み込む様子。

容器をご覧になりたい方はお近くの市場（札幌花き、仙台生花、大田花き、F A J、するが花き、名港フラワー、新花、金沢花市場、なにわ、西日本、花満、福岡県花卉）にお問い合わせください。サンプルを用意しています。

本件についての問い合わせは、一般社団法人日本花き卸売市場協会まで。